

緩和ケア診療部

緩和ケアって

命に関わる病気に直面した患者さんやその家族に対して、さまざまな苦痛を緩和し、生活の質（QOL）を向上させるために、痛みやその他の症状を早期に見つけて適切なケアを行う医療です。
がん患者さんはもちろん、心疾患、呼吸器疾患など、様々な疾患を持つ患者さんを対象にしています。



医師Aの場合

XX06年→旭川医大卒業

XX08年→初期研修終了し麻酔科へ入局

XX10年→麻酔科標榜医、麻酔科学会認定医取得

XX13年→麻酔科学会専門医取得

XX21年→緩和医療学会入会

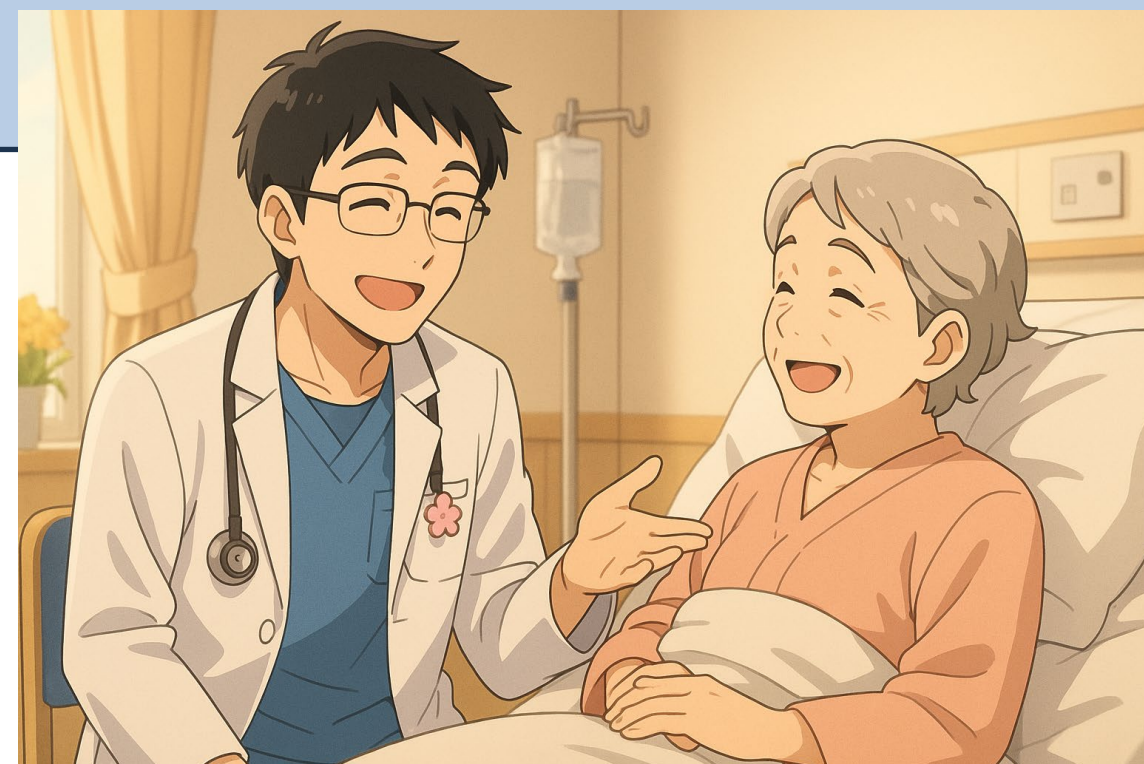
XX24年→緩和医療学会認定医取得

XX25年→緩和医療学会専門医取得



特例措置

* 特例措置として認定医を取得し専門医へ移行という道もあります(2029年まで)



緩和ケア医を増やすための試み

第13回 日本緩和医療学会 緩和ケア基礎セミナー

Zoom ミーティング

2025年7月6日(日)
9:30~16:45

基礎から楽しく学べる
セミナーを開催します

症例から学ぶ！
胃がん患者の症例を紹介し、痛み、せん妄、浮腫、がん相、コミュニケーション、家族ケア、療養の場について学習していきます。

参加費
会 員：3,500円
非会 員：4,000円
学 生：1,500円
(臨床経験がある学生のみ)

対 象
医師、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー、公認心理師(臨床心理士)、理学療法士、作業療法士、管理栄養士ほか医療関係者、医療関係者、臨床経験のある大学医学生(臨床経験がない学生は不参加いただけます)

お申し込み期間
2025年6月23日(月) 17:00まで

主催：緩和医療財団法人、日本緩和医療学会 企画運営：緩和ケア基礎セミナー WPG

学会事務局 〒550-0001 大阪市西区土佐堀1丁目4-8 日栄ビル 603B 号室
E-Mail: jgpn@kyoumei.jp URL: https://www.jgpn.jp/

北海道緩和ケア医・精神腫瘍医 キャリアパス説明会

北海道で緩和ケアやりませんか？
緩和ケア・精神腫瘍に興味のある医師を対象にWeb説明会を行います

・北海道で緩和ケア医・精神腫瘍医として働きたい
・いまの仕事をやめずに緩和ケアの仕事もしたい
・少しの間だけ緩和ケアを勉強したい
・将来緩和ケア医・精神腫瘍医になりたい

などの希望をお持ちの医師の方、お気軽にご参加ください

Web開催
日時・形式 2025年8月14日(木)
19:00~20:30

プログラム
1. 緩和ケア医・精神腫瘍医の仕事って？
2. 現役医師のキャリアパス紹介
3. 北海道内の就職、研修可能施設の紹介
4. グループトーク (質問コーナー)

※グループワークは担当者により質問できるコーナーです。緩和ケア医の仕事についてなど気軽に質問できます。

右のQRコードより事前参加登録をお願いいたします。
(2025年8月13日 00:00前)
登録無料。

お問合せ KKR札幌医療センター 緩和ケア科長 大嶋 孝子
電子メール: dechangyang658@gmail.com
お電話: 011-747-1111 (内線 2424) となります。近くなりましたら専用URLと連絡方法についての情報を更新いたします。

緩和ケア専門医へのロードマップ

Type A 基本領域専門医取得後→緩和ケア医

ステップ	内容	期間の目安
	医学部卒業と初期臨床研修	
後期研修	19基本領域の専攻医として研修	3~5年 (各専門医によって異なる)
緩和医療専攻医	認定施設での研修	2年(基本領域の専攻医時期の実績も含められる)
専門医試験	書類提出、筆記試験(CBT) 症例報告書、口頭試問	年1回実施

Type B まっすぐ緩和ケア医

ステップ	内容	期間の目安
	医学部卒業と初期臨床研修	
後期研修 緩和ケアの経験	内科、外科、腫瘍科 緩和ケアなどの実践経験 * 研修認定施設で2年以上の緩和ケア研修	4~5年 * 初期研修も併せて5年以上の緩和ケアの経験が必要 または * 「がんプロフェッショナル養成プラン緩和医療専門医コース」終了
専門医試験	上記と同じ	年1回実施

緩和ケア医な一日

AM 8:40 緩和ケアチームカンファレンス

➤ 緩和ケア医、麻酔科からのローテーター、初期研修医、緩和ケアチーム専従看護師が参加

緩和ケアチームが関わっている入院患者さん20-30名の
問題点・対策検討

主治医・病棟スタッフとの情報共有、ご家族へのアプローチ方法検討

AM 10:00 緩和ケア外来（胃がんの患者さん）

➤ 外来化学療法中の悪心・食欲不振に対する制吐薬や食事内容について検討

外来化学療法センターへの往診

AM 10:30 緩和ケア外来（大腸がん骨転移の患者さん）

➤ 左下肢痛に対する鎮痛剤調整

下肢運動麻痺・膀胱直腸障害により緊急MRI、緩和照射を依頼

AM 11:00 病棟回診（下咽頭がんの患者さん）

➤ 咽喉頭粘膜炎の痛みに対して強オピオイド開始
薬剤管理を薬剤師さん、リーダー看護師さんと相談

AM 12:00 緩和ケア外来（肺がんの患者さん）

➤ 呼吸困難にモルヒネ製剤処方中、在宅酸素使用
患者の終末期ケア希望・意思表示

PM 2:00 緩和ケア外来（卵巣癌の患者さん）

➤ 治療決定困難な患者への意思決定支援

症状緩和目的で抗がん治療を継続することを共に決定

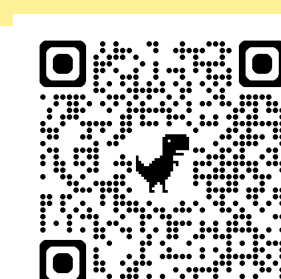
PM 4:30 退院前合同カンファレンス

➤ 現在は入院中だが、最期は自宅で過ごしたい
→在宅医療へ移行

訪問診療医、訪問看護師、訪問薬剤師、ケアマネジャー、福祉用具業者、主治医、病棟看護師、院内理学療法士、緩和ケアチームが参加

自宅に帰ってから起こりうる問題点を今後の見通しを含めて共有。これまでの治療への思いやご家族との関係性などについてもしっかりお伝え

患者さんのHAPPYを目指しながら関わる医療者もHAPPYになる
そんな“緩和ケア“を一緒にやりませんか？



連絡先：緩和ケア診療部
asahikawa.kanwa.office@gmail.com